

発行所：一般社団法人佐賀県臨床検査技師会
〒849-8501 TEL:070-2392-1447 FAX:0952-34-2028
事務局：佐賀大学医学部附属病院 検査部内

発行人：平野 敬之 編集人：高森 末子
URL : http://saringi.jp/
Email : saringi-jimu@saga.email.ne.jp (事務局)

全国「検査と健康展」 in 佐賀

今年度の全国「検査と健康展」は、コロナを克服して公益事業を実施するため、あらゆる選択肢の中から新聞紙面上での開催としました。12月11日(土)に西日本新聞、佐賀新聞にて掲載予定です。中・高校生を含む全世代に閲覧していただき、臨床検査(技師)を啓発する内容となっています。

今回は、がん予防啓発事業を兼ねての開催としております。コロナ禍で健診受診率が低くなり、がんの早期発見が遅れているとされていることより、「健診を受けましょう」というテーマで、佐賀大学産婦人科の横山正俊先生の子宮頸がん検診についての講演を掲載しております。皆様閲覧をお願いします。

第2回佐賀県医師会臨床検査精度管理調査解析作業部会報告

11月12日(金)、佐賀メディカルセンターにて標記会議を開催しました。今年度の調査(10月13日～31日の期間で実施)の、施設の参加状況やデータ収集状況等について報告がありました。その後、今後の解析スケジュールや来年2月19日に開催予定の第34回(令和3年度)佐賀県医師会精度管理調査報告会の開催方法、プログラム等について協議を行いました。

2021年度日臨技九州支部医学検査学会(第55回)報告

11月6日(土)、沖縄コンベンションセンターで開催された標記学会の学会式典に参加しました。はじめに、山城篤学会長が式辞を述べた後、日臨技宮島喜文会長および日臨技九州支部佐藤元恭支部長から挨拶がありました。その後、九州各県会長の紹介と来賓の挨拶に続き、来年福岡県で開催される第56回学会の外山洋子学会長より、開催案内がありました。2022年11月5日(土)、6日(日)、久留米シティプラザで開催され、メインテーマは「Going On」、サブテーマは「～つながり・つなげる臨床検査～」となっています。最後に、2019年度日臨技九州支部学術奨励賞(第54回)の表彰が行われ、閉会となりました。

本学会は、オンデマンドにて12月12日(日)まで開催されていますが、まだまだ参加者が少なく、佐賀県においても参加申し込み率が10%台と極めて少ない状況です。今回のテーマは「パラダイムシフト～「臨床検査」のさらなる挑戦～」であり、タスク・シフト/シェア、臨床検査技師教育制度の改正、日臨技品質保証施設認証制度の改革など、変革の時期を迎えている我々臨床検査技師にとって、将来展望を理解するためのわかりやすい内容となっています。日臨技企画はもちろん、沖臨技企画、部門企画も日常の業務に活かせる充実した内容となっていますので、ぜひ多くの皆様の参加をよろしくお願いします。

第1回九州支部幹事会議報告

11月5日(金)、沖縄コンベンションセンター及びWebのハイブリッド形式にて標記会議が開催されました。はじめに、日臨技宮島喜文会長からタスク・シフト/シェア、臨地実習、品質保証制度について、現在の進捗状況と今後の予定について説明がありました。次に、令和3年度の支部研修会実施状況およびタスク・シフト研修会の計画と実施状況の報告の後、12月19日に熊本保健科学大学で開催予定の九州支部主催実技講習会について、今後の開催準備に関する情報共有が行われました。また、第55回九州支部医学検査学会(沖縄県担当)の開催内容、第

56回九州支部医学検査学会(福岡県担当)の準備状況、各県から学術活動等について報告がありました。最後に、次回幹事会議の日程について、来年2月、福岡での現地開催を予定して調整をしていくことが確認されました。

臨地実習指導者講習会(中央講習会)参加について

臨床検査技師等に関する法律施行令、臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令の交付、並びに臨床検査技師養成所指導ガイドラインが施行されました。本改正等に伴い、2022年4月入学生から新たに臨地実習の充実が図られ、養成校から臨地実習を受け入れる施設では、臨地実習指導者の配置が必須化されました。臨地実習指導者は、臨床検査技師として5年以上の実務経験を有し、十分な指導能力を有するものであり、かつ、厚労省が定める基準を満たす臨地実習指導者講習会を修了したものであることが定められています。

これに先立ち、今後の「臨地実習指導者講習会」の運営に協力いただける方を主な対象とした中央講習会が開催され、佐賀県からも2名の方に参加いただきました。

《参加報告 佐賀県医療センター好生館 中村朱》

事前学習として12のコンテンツを視聴し、10月24日(日)に臨地実習指導者講習会(Web開催)を受講しました。グループワークを主とした形式で行われ、ファシリテーターを含む6人のグループで意見を出し合いました。既に実習生を受け入れている施設、受け入れたことのない施設、また受け入れていても規模の違う施設であれば様々な思考があり、その施設毎に、経験した事柄や、不安に思っている点など、たくさんの意見を聞くことができ大変意義のある講習でした。2022年度入学生から適用される新たな臨床検査技師養成にむけて、臨地実習の在り方が明確になることで、共通の認識で一定水準の実習を体験させていけることにつながり、指導者、実習生ともに満足度の高まる実習が行われるのではと思いました。

《参加報告 佐賀大学医学部附属病院 於保恵》

10月31日(日)に開催された臨地実習指導者講習会に参加させていただきました。グループワークはZoomで開催(9:00～18:20)され、1グループ5～6人の計8グループに分かれて様々な検討を行いました。プログラムを立案する際には「学生ができればならないことは何か」、「学生はどのようにそれを身につけるのか・指導者はどのように関わるのか」、「学生の到達度を指導者はどのように確認するか」についてグループ内で討議し、発表を行いました。仮想事例検討では仮想の実習生(持病や発達障害がある実習生)に対して指導者としてどのような対応をとるのか、などをグループ内で検討しました。全国の受講者の方々と充実した討議をすることができ「良い臨地実習とは何か」「どのような臨床検査技師を育てたいか」について再度考える大変良い機会となりました。

11月活動報告

5日(金) 第1回九州支部幹事会(沖縄県)・・・平野
6日(土) 九州支部学会(沖縄県)・・・平野
12日(金) 県医師会精度管理調査解析作業部会(佐賀市)・・・平野
30日(火) 三役会(Web)・・・全三役